

総合計画特別委員会

審査の結果、議案第81号「第6次勝山市総合計画の策定について」を可決しました。

本特別委員会は、令和2年12月に設置し、これまで8回委員会を開催し、第6次勝山市総合計画の策定に関する事項について理事者から詳細な説明を受けて、議論、協議、提案を行ってきました。

令和4年3月定例会において、議案として第6次勝山市総合計画案が示され、本特別委員会において慎重に審査しました。

委員からは、本計画策定後、勝山市市民憲章を市民の皆様が身近に感じるよう活用していくことへの希望や今後も勝山市の素晴らしい教育や自然環境など、他に秀でた魅力やポテンシャルを活かした政策を進め、それがSDGsの達成にもつながっていきけるよう、勝山らしさを基本にしたまちづくりを期待する等の意見がありました。

これに対して理事者からは、総合計画策定後も市民意見交換会を行い、政策推進に関する市民の意見を聴取し、議会にも進捗状況を報告しながら柔軟に進めていきたいとの答弁がありました。



代表質問 議・議員／理・理事者

○ 令和4年度当初予算案について ○ まちなかの活性化について

その他の質問

- ・「まちづくり会館」について
- ・中学校再編について

新風会・公明
竹内和順
議員



議 水上市政が誕生し、初めての市長の思いが十分詰まった新年度予算編成になっているものと期待している。

市の最上位の計画である「第6次勝山市総合計画」も新年度よりスタートし、本計画に基づいて予算要求がなされたものと考えているが、当初予算編成方針と重点事項を伺う。

理 最も大切な根幹の政策は、人口減少、少子高齢化、人口構成の変化対応を意識することと考える。

第6次勝山市総合計画との関係では、「地域の未来を創る」事業として、市内10地区の特性を活かし、住民が主体となった地域振興や地域コミュニティ活動の活性化を目的とした「ここに地域づくり基金」の創設、「まちの楽しさを創る」事業として、多くの人が集い、若者が交流できるまちにするため、いつでも誰でもチャレンジできる環境を整えることを目的とした「わくわくクラウドファンディング応援事業、ちよいちやれ応援事業」の2つが重点事業として挙げられる。

議 市内の中心と言えば、市役所庁舎、ショッピングセンターのサンプラザではないかと思う。この一帯に人を呼び込むべき。まずは、中央公園のリニューアル、そして庁舎、市民会館、教育会館、ゆめおれ勝山、図書館を一体的に再開発できないものか。若手職員プロジェクトチームの斬新で夢のある勝山像を描いてほしい。

理 中央公園を市民のための公園、特に市内の子どもたちがわくわくする楽しい公園としての再整備を目指し、国の交付金活用を視野に入れ、令和4年度中の事業計画策定に向けて、子育て世代の方々と協議し、議会に諮りながら進めていきたい。

また、市民会館など市役所周辺施設は、令和4年度当初予算でファシリテーターマネジメント（公共施設の最適化）業務委託費を計上し、市役所周辺施設の利用の適正化について検討し、基本計画を作成する予定である。

若手職員の意見を積極的に取り入れ、市民が集い、賑わいのあるエリアを目指したい。